

新美南吉記念館だより

NIIMI NANKICHI MEMORIAL MUSEUM NEWS

発行 新美南吉記念館 〒475・0966 愛知県半田市岩滑西町1・10・1 Tel. 0569・26・4888 <http://www.nankichi.gr.jp>



七月三十日は南吉の誕生日です。半田市ではこの日を「南吉さんの日」と呼んで、毎年生誕祭を開催しています。今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のためイベントを開催できませんでした。

その代わりに行ったのが、お祝いメッセージとイラストの募集です。これは南吉の誕生日をお祝いのメッセージとイラストを郵

南吉さんおめでとう

～107回目の誕生日をお祝いして～

- ①全国から集まったお祝いメッセージやイラスト
- ②南吉の肖像と献花台（記念館エントランスにて）
- ③当日は来館者の方が南吉へ献花をしてくださいました

便・メール・ツイッターで募集しようというもので、初めての試みでしたが、たくさんの方がご応募くださいました。七月一日（水）～三十日（木）までの期間に、メッセージが五十五通、イラストが十六枚届き、八月十六日（日）まで記念館のエントランスに飾りました。応募方法で見ると、圧倒的にツイッターが多かったです。

メッセージを募集する際、好きな南吉作品も書いていただいたところ、いろいろな作品名があり、皆さんの思い出の作品についてお聞きすることができました。ツイッターで「#南吉さんおめでとう」と検索していたら、その一部を見ることができました、よろしければご覧ください。

今年は例年のように式典やイベントこそなかったものの、素敵なメッセージとイラストに囲まれた、温かい誕生日になったと思います。当日は記念館を無料開放して、来館されたお客様に献花もしていただきました。

企画展

「児童雑誌『カシコイ小学生』に
集った作家と新美南吉」

九月十九日（土）から、南吉の幼年童話を掲載した児童雑誌『カシコイ小学生』を取り上げた企画展を開催します。

新美南吉記念館では、児童雑誌『カシコイ一年小学生』『カシコイ二年小学生』を二十七冊収蔵しています。東京神田神保町にあった精文館が刊行していました。期間は昭和七年から十年頃。南吉が東京外国語学校に通っていた時期（左写真）と重なります。学生だった南吉の作品を掲載してくれた雑誌です。

同誌には他に、浜田広介

これまで当館では、『カシコイ小学生』について、自館で収蔵する号と、他の専門図書館や個人が所有する号と合わせて三十八冊の掲載内容を調査、記録してきました。その過程で長らく南吉の死後に発表されたと考えられていた作品が生前既に同誌に掲載されていたことが分かったり、

第一章 精文館と『カシコイ小学生』
第二章 東京時代の新美南吉
第三章 『カシコイ小学生』に
掲載された南吉作品
第四章 カシコイに集った作家たち
第五章 作品を彩る挿絵原画



同誌に集っていた作家の全集未掲載作品や初出未詳の作品が見つかるなど多くの収穫がありました。当館が『カシコイ小学生』の企画展を開催するのは平成二十四年以来二度目

▶『カシコイ二年小学生』昭和十年二月号／南吉作品「小さい神さま」と表紙



です。前回以降、精文館の創業者遺族のもとから同誌の挿絵原画が発見されたり、南吉作品を掲載した号がさらに見つかるなどの出来事もありました。今回は、南吉と『カシコイ小学生』の関わりとともに、同誌に集っていた作家や画家らの掲載作品や挿絵原画を展示し、改めて同誌がどんな雑誌であったのかをご紹介します。（十二月二十日）

似顔絵で笑顔に



©原口侑千

開催中の企画展「原口侑千さんのかわら版4コマ漫画展」に関連して、八月十三日（木）・十四日（金）・十六日（日）は、原口さんに似顔絵を描いていただきました。

今回のイベントは感染症対策として、間仕切りの設置や消毒の徹底、参加者への検温などを行ったうえ、換気のできる工作室で開催しました。三日間とも午前の部・午後の部とに分けて開催したところ、いずれの回も定員となる人気ぶりでした。

会場では、イラストレーターで漫画家の原口さんが、一人十分ほどで似顔絵を描いてくださいました（左下写真）。黙々ということとはなく、間仕切り越しに向かい合った方と朗らかに会話をされている内に、気が付けば絵が描きあがっていました。今回はお盆ということもあり、家族連れの方が多く、一枚に複数人を描かれることもありました。似顔絵には原口さんの作品「ごんのかわら版4コマ」のキャラクターである「ゴン」「チロ」「ポン太」

会場で、イラストレーターで漫画家の原口さんが、一人十分ほどで似顔絵を描いてくださいました（左下写真）。黙々ということとはなく、間仕切り越しに向かい合った方と朗らかに会話をされている内に、気が付けば絵が描きあがっていました。今回はお盆ということもあり、家族連れの方が多く、一枚に複数人を描かれることもありました。似顔絵には原口さんの作品「ごんのかわら版4コマ」のキャラクターである「ゴン」「チロ」「ポン太」



#明日をとどける

新型コロナウイルスの影響で落ち込んでいた方々を励ますため、記念館では五月十七日(日)から、南吉の詩「明日」^{あした}を朗読して、動画を投稿してもらおうという企画を始めました。

皆さんは南吉の「明日」という詩をご存知でしょうか。未来への希望に満ちた、とても明るい詩です。南吉が十九歳の時に雑誌『赤い鳥』に投稿し、昭和七年十月号に入選しました。選者の北原白秋はこの詩について「童謡では、新美君の「明日」がよろしい。清新であり、香気もある(後略)」と評しています。

その詩を朗読し、動画を投稿してもらおうと呼びかけ始めたのは、全国で緊急事態宣言が発令され、コロナ禍やうち時間といった言葉がよく聞かれるようになった頃です。記念館も三月から臨時休館となり、長らく皆さんへアプローチできないでいました。そこで「みんなで『明日』をとどけよう!」と題して、コロナ禍で落ち込まれている方々を励ますために、朗読動画を上げてもらう企画を始めたのです。



動画はすべて、「明日をとどける」というタグをつけて、ツイッターなどに投稿してもらいました。朗読はもちろん、中にはオリジナル曲やアニメーションをつけたものもあります。八

月十九日現在で、集まった動画の数は六十六本です。子どもから大人まで、本当にたくさんの方々が全国から「明日」とどけてくださいました。ぜひ、ツイッターで「#明日をとどける」と

検索してみてください。

記念館のYouTubeチャンネルでも「明日」の朗読動画をご紹介します(左上画像)。半田市長や地元の子どもたち、それから普段記念館で朗読をしてくださっている方々の動画をまとめていますので、ぜひ一度ご覧いただければと思います。

これまで、企画を知り「明日」を朗読された方や、それを聞かれた方からは、「勇氣や元気が湧いてきました」「南吉がこんな詩を書いていたなんて初めて知りました」などの言葉をいただき、コロナ禍で落ち込まれている方を励ましながらかも、南吉の詩を広く知ってもらえることができたのではないのでしょうか。

記念館ではまだまだ皆さんからの投稿をお待ちしています。あなたの声で「明日」とどけてみませんか?

おうちミュージアム参加中

七月十日(金)、記念館ホームページに「おうちミュージアム」の特設ページをアップしました。

「おうちミュージアム」

加を決めました。

とは、新型コロナウイルスの影響で学校が休みになってしまった子どもたちへ、各ミュージアムからおうちで楽しく遊べるアイデアを発信しようという取り組みです。現在、北海道博物館をはじめ二百を超える施設が参加しています。全国一斉の休校は終わりましたが、依然コロナの脅威は残っていること、また、遠方の方にも気軽に楽しんでもいただけるコンテンツを充実させるため、記念館も参

新美南吉記念館の「おうちミュージアム」では、ホームページで南吉童話のぬり絵と南吉クロスワードを公開しています。どちらも遊びながら南吉に親しむことができますので、ぜひ印刷やダウンロードをして、家族みなさんでお楽しみください(詳しくは「新美南吉記念館・おうちミュージアム」で検索されるか、<http://www.nankichig.jp/Sonohoka/outi-museum.html#outimuseum>)。



もちろん、各ミュージアムでも特色のあるアイデアがたくさん発信されていますので、これからのおうち時間に、少し覗いてみてはいかがでしょうか。

記念館からのお知らせ

令和2年「ごんの秋まつり」は中止します

例年、9月下旬～10月初旬にかけて、記念館近くを流れる矢勝川堤は300万本の彼岸花で真っ赤に染まります。それに合わせて「ごんの秋まつり」を開催していますが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止が決定いたしました。そのため、開花時期に臨時駐車場、周遊バス、定額タクシーなどの受け入れ体制ができません。

誠に申し訳ありませんが、今年は彼岸花を見に来られないようにお願いします。

また、「ごんの秋まつり」中止に伴い、今年は彼岸花シーズンの団体見学をお断りさせていただきます。さらに、以下の期間は平日・土日祝日にかかわらず、記念館駐車場へのバスの乗り入れ自体ができませんので、お気を付けください。

ご迷惑をおかけしますが、感染拡大防止のため何卒ご協力いただきますようお願いいたします。

< 記念館駐車場にバスが乗り入れできない期間 >

2020年9月19日（土）～10月11日（日）



記念館公式ツイッターを開設しました

五月十七日（日）、新美南吉記念館公式ツイッターアカウントを作成しました。これまでも、ホームページやフェイスブックを通じて情報をお届けしてきましたが、新たにツイッターも開設して、皆さまに広くお知らせができるよう努めて参ります。

新美南吉童話イメージキャラクターの「ごん吉くん」が、記念館や南吉のことについて楽しく話していますので、ぜひフォローしてください。

アカウント名：ごん吉くん（新美南吉童話イメージキャラクター）
ユーザー名：@gonkich01



『赤いろうそく』

売れています！

今年是新美南吉童話賞入選作品集『赤いろうそく』の注文をよく受けます。巣ごもり効果で、童話を書いているという方が増えているのでしょうか？

『赤いろうそく』は記念館の受付で販売しているほか、通信販売も行っています。一冊五百円。詳しくは記念館HPまで。



日誌抄：

六月（水無月）

▼1日 第32回新美南吉童話賞作品募集始まる（～9月15日）▼2日 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休館が終了し、91日ぶりに開館▼同日 「榎原澄香ペーパーアート展」再開▼同日 「ベラルーシの子どもたちが描いた南吉感想画展」始まる（～8月

2日）▼28日 「榎原澄香ペーパーアート展」終了。会期中来場者数5161人
七月（文月）

▼1日 南吉の誕生日へのお祝いメッセージ・イラストの募集を始める（～7月30日）▼2日 半田中学校3年生がでむし広場で除草作業▼4日 「原口侑千・ごんのかわら版4コマ漫画展」始まる（～9月13日）▼10日 記念館が「おうちミュージアム」に参加▼12日 地元の人たちが屋外休憩所横で彼岸花球根の植栽▼23日 南吉の誕生日へのお祝いメッセージ・イラストの掲示を始める。於記念館エントランス（～8月16日）▼26日 「童話創作講座」。15人参加▼30日 南吉107回目の誕生日。記念館を無料開放▼同日 半田中学校3年生35人が記念館せせらぎ沿いで除草作業

（9月の休館日）
7日（月）、8日（火）、14日（月）
（10月の休館日）
5日（月）、12日（月）、13日（火）、19日（月）、26日（月）